

保険診療でプラセンタ治療を受けられる皆様へ

- ※ プラセンタは血液製剤と同様の特定生物由来製品であり、献血ができなくなることや、ヒト胎盤を原料とすることによる感染症に対し安全性が確立されてないこともあり、ほかに治療法がないなどを除き当院ではその安易な使用をお勧め致しておりません。
- ※ 希望される方すべてに実施しているわけではなく、医師がその判断を致します。

保険診療では、①更年期障害、乳汁分泌不全および②肝機能障害の方々に対しプラセンタ治療が認められています。

- ① 女性の更年期は45歳くらいから55歳くらいまでとされています。  
40歳を過ぎると、卵巣の機能がだんだん低下することもあり、40歳から徐々に更年期症状が出る可能性があると考えます。その後60歳になるころには落ち着くことが多いとされていますが、ただし閉経が遅い人は60代を過ぎても更年期の症状に悩まされ続ける人もいます。  
(なかには20代、30代から更年期症状の出る若年性更年期障害も存在するとされています。)

当院におきましては、更年期障害に対するプラセンタを用いた保険診療は、年齢として上記の根拠から40歳から60歳までを基本としており、さらには疲れ、冷え、イライラ、ホットフラッシュ、肩こり腰痛等の症状が更年期に由来すると医師が判断する場合のみ実施しております。

(上記以外の年齢の方においては、医師が更年期と判断した場合に限り例外的に行うこともあります。)

美肌、美容、アンチエイジングを目的とした保険診療は認められておりませんので、その理由で治療はすることはできません。

(副次的に美容効果があることは構いませんが、それを主目的に保険診療は受けられないことと、当院医師の個人的意見としては、美容、アンチエイジング的効果はあまり分かりにくいと思っています。)

なお、症状改善をトータル的に健康管理することと、プラセンタ治療における副作用の発見を早期にするために、治療開始時と以降定期的に簡単なメディカルチェックを実施します。

自費診療でプラセンタ注射を希望される皆様へ

- ※ プラセンタは血液製剤と同様の特定生物由来製品であり、献血ができなくなることや、ヒト胎盤を原料とすることによる感染症に対し安全性が確立されてないこともあり、ほかに治療法がないなどを除き当院ではその安易な使用をお勧め致しておりません。
- ※ 希望される方すべてに実施しているわけではなく医師がその判断を致します。

当院では自費の価格を比較的安く設定しております。

当院では営利目的としてプラセンタ注射を実施しておりません。アトピー性皮膚炎やうつ症状、疲れなどの慢性症状に効果があり続けたいと考えているが、保険診療では適応がない方々のためにお役に立ちたいという本意があります。

以上のことから、美容、アンチエイジングを主目的とされる場合、とくに治療効果があまりないと判断した場合には漫然と継続するような治療をお断りさせていただきます。

また一度に注射する本数や頻度に関しまして、希望を伺ったうえで医師が適当と判断する本数と頻度を決定いたします。

当院医師の個人的意見としては、美容、アンチエイジング的效果はあまり分かりにくいと思っていることもあり、美容、アンチエイジングを主目的とされる場合は、美容外科や美容皮膚科へ通院され相談されることをお勧めいたします。

なお、症状改善をトータル的に健康管理することと、プラセンタ治療における副作用を早期発見の観点から、治療開始時と以降定期的に簡単なメディカルチェックを致します。